

平成27年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	公明党
-----	-----

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
5	一般会計	敬老会開催事業	文教福祉分科会

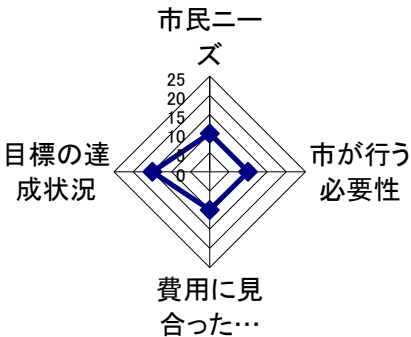
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ ★評価の視点 事業対象者から見た視点をご記入ください。 ※対象者：70歳以上の市民 (H26年度：7,716人、出席者898人)	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ○ ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	10	出席率が低いので、一堂に会する事を、対象者のかたがのそんでいるとは考えにくい。
(2) 市が行う必要性 ★評価の視点 市が行うのかどうかをご記入ください。 ※対象者：70歳以上の市民	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ○ ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	10	地元の地域で開催できれば、市が行う必要はない。
(3) 費用に見合った効果 ★評価の視点 会場費、バス代、アトラクション代は妥当かどうかを踏まえてご記入ください。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ○ ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	10	バス代に経費が掛かり過ぎる。アトラクションは、費用に見合っているかもしれないが、効果的とは言えない。
(4) 目標の達成状況 ★評価の視点 対象者に「敬老」の意図が伝わっているかを考えてご記入ください。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ○ ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	15	敬老会を実施している事により、市が敬老の意を示していることを、多少伝えることができる。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	45
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	③ 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

参加者が1割ほどなので、地域福祉計画の単位や町内会単位など、地元の参加しやすい所で行うか、敬老の意を表せる別の方法を考える必要がある。

課題と反省

高齢者の意識は、地元住民と転入者の間に違いが有るのではないかと。団塊の世代の意見や不参加の方の理由を明確にし、実行委員会の意見を尊重する必要があると思われる。

平成27年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	市民クラブ維新会
-----	----------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
5	一般会計	敬老会開催事業	文教福祉分科会

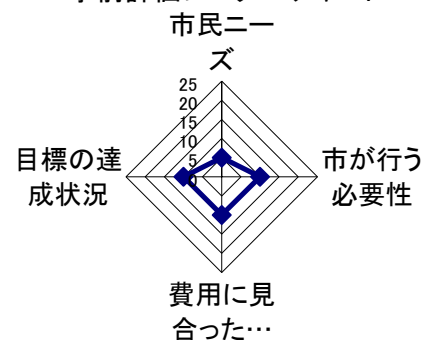
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ ★評価の視点 事業対象者から見た視点を ご記入ください。 ※対象者：70歳以上の市民 (H26年度：7,716人、出席者898人)	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ○ ⑥ニーズがない(0点)	5	敬老会の対象者の10%強しか参加していないことはニーズが低いと見るべきである。
(2) 市が行う必要性 ★評価の視点 市が行うのかどうかをご記入ください。 ※対象者：70歳以上の市民	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ○ ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	10	各地域ごと開催するべきである。
(3) 費用に見合った効果 ★評価の視点 会場費、バス代、アトラクション代は妥当かどうかを踏まえてご記入ください。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ○ ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	10	一箇所に集めて開催するのも効果的ではなく、アトラクションなども個人の好みで多様な意見がある。
(4) 目標の達成状況 ★評価の視点 対象者に「敬老」の意図が伝わっているかを考えてご記入ください。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ○ ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	対象者全体に「敬老」の意図が伝わっているとは考えられない。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	35
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

事業対象者の10%強の参加で、毎年行われているが、すでに各地域に分けて開催する計画も考えられてるようだ。改善して地域で地域の敬老会が行われるようになればよい。

課題と反省

課題と反省

平成27年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	日本共産党
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
5	一般会計	敬老会開催事業	文教福祉分科会

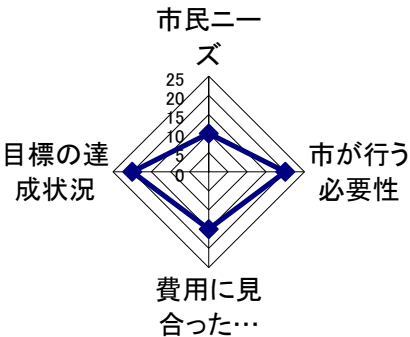
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ ★評価の視点 事業対象者から見た視点を ご記入ください。 ※対象者：70歳以上の市民 (H26年度：7,716人、出席者898人)	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ○ ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	10	これまでの経緯をみると、参加者が年々減っている。高齢化が進み、集会の持ち方を変えるべき。
(2) 市が行う必要性 ★評価の視点 市が行うのかどうかをご記入ください。 ※対象者：70歳以上の市民	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ○ ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	20	市の仕事として、継続すべきだと思うが、制度を変化させ、自治会規模に変化させるべきだと思う。
(3) 費用に見合った効果 ★評価の視点 会場費、バス代、アトラクション代は妥当かどうかを踏まえてご記入ください。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ○ ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	15	高齢者が集うチャンスではあるので、費用は妥当である。
(4) 目標の達成状況 ★評価の視点 対象者に「敬老」の意図が伝わっているかを考えてご記入ください。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ○ ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	20	参加者には敬老の意図は伝わっていると感じる。しかん後は規模を縮小することできめ細かいサービスにしていすべきだろう。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	65
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

参加者が減っている理由を検討し、新たな取り組みをしていく時期だと思う。後期高齢者の増加が今後見込まれるとなると、現在の事業のやり方ではますます参加者が減ってしまう。規模、場所、企画内容の再編の時期だと考える。

課題と反省

後期高齢者の増加を考慮し集まりやすい場所、企画に変更していくべき。

平成27年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	みんなの会
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
5	一般会計	敬老会開催事業	文教福祉分科会

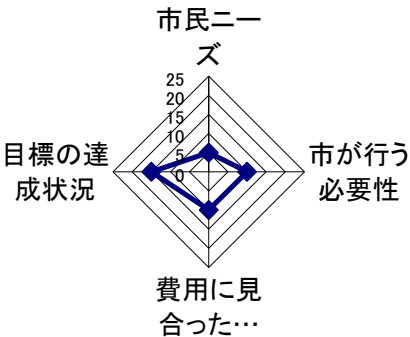
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ ★評価の視点 事業対象者から見た視点をご記入ください。 ※対象者：70歳以上の市民 (H26年度：7,716人、出席者898人)	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ○ ⑥ニーズがない(0点)	5	11.64%の出席率であり、これまでの出席率を見ても約1割で横ばい状況である。
(2) 市が行う必要性 ★評価の視点 市が行うのかどうかをご記入ください。 ※対象者：70歳以上の市民	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ○ ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	10	地域福祉活動計画と連携をする事により、活動計画内に盛り込めないかと考える。
(3) 費用に見合った効果 ★評価の視点 会場費、バス代、アトラクション代は妥当かどうかを踏まえてご記入ください。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ○ ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	10	予算に対して出席率の向上が図れているとはいいがたい。
(4) 目標の達成状況 ★評価の視点 対象者に「敬老」の意図が伝わっているかを考えてご記入ください。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ○ ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	15	出席した高齢者の皆様には良い評価をいただいている状況である。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	40
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

市内全体の今後を考えると守谷市も高齢化の波が一気に押し寄せてくることが考えられる。また、出席率のUPを改善しても、会場のキャパシティがあり、一堂に会することも難しいと考えられる。

課題と反省

地域に分散させて(会場も)行う事により、経費の節約と徒歩でも参加できる方等の増加により、出席率の向上が考えられる。

平成27年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	もりや清流会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
5	一般会計	敬老会開催事業	文教福祉分科会

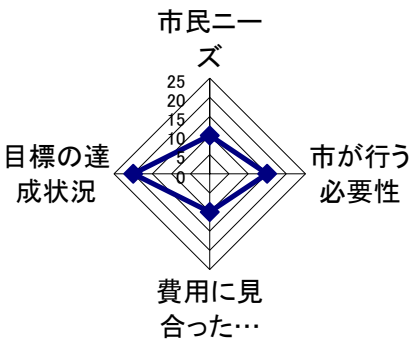
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ ★評価の視点 事業対象者から見た視点を ご記入ください。 ※対象者：70歳以上の市民 (H26年度：7,716人、出席者898人)	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ○ ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	10	対象者の出席が1割程度から見る ニーズは低い。
(2) 市が行う必要性 ★評価の視点 市が行うのかどうかをご記 入ください。 ※対象者：70歳以上の市民	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ○ ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	15	現状、市が行う必要性は高いと考え られるが、今後は各地域で行えられ るかの検討を要する。
(3) 費用に見合った効果 ★評価の視点 会場費、バス代、アトラク ション代は妥当かどうかを踏 まえてご記入ください。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ○ ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	10	午前で終わられるような開催を検討 し、弁当などの費用の再検討をして はどうか。
(4) 目標の達成状況 ★評価の視点 対象者に「敬老」の意図が 伝わっているかを考えてご記 入ください。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ○ ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	20	参加者には敬老の気持ちが伝わっ ていると思われるが、弁当など「も の」を当てに参加者が来るのなら ば、本来の趣旨が疑われる。趣旨の 再検討を要す。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	55
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

敬老会に出席した対象者は、アトラクション等を見ながら楽しい一日を過ごしている。しかし、約9割の対象者が出席していないのは、毎年来るようなリピーターに繋がっていないのではないかと。また、現代の70歳は、まだ気持ちが若く自分が敬老会に行くというイメージが余り感じられないのではないかと。さらに、弁当など「もの」を当てに参加者が来る敬老会になってないかと調査を要す。

課題と反省

今後の課題としては、今までのように一時的に行うのか、地区ごとの個別開催にしていくのかも含め実行委員会で話し合ってもらいたい。さらに、予算的には250万程度の予算内で留められるような工夫をしていただきたい。また、対象年齢の引き上げも検討してみてもどうかと考える。

平成27年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	もりや未来
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
5	一般会計	敬老会開催事業	文教福祉分科会

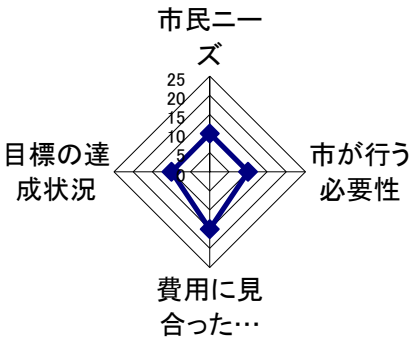
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ ★評価の視点 事業対象者から見た視点を ご記入ください。 ※対象者：70歳以上の市民 (H26年度：7,716人、出席者898人)	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ○ ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	10	出席率が26年度では11.64%と低迷している。
(2) 市が行う必要性 ★評価の視点 市が行うのかどうかをご記 入ください。 ※対象者：70歳以上の市民	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ○ ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	10	地域福祉活動計画の中に盛り込めないか。
(3) 費用に見合った効果 ★評価の視点 会場費、バス代、アトラク ション代は妥当かどうかを踏 まえてご記入ください。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ○ ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	15	出席した老人の人達は楽しく一日を過ごすことができる。
(4) 目標の達成状況 ★評価の視点 対象者に「敬老」の意図が 伝わっているかを考えてご記 入ください。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ○ ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	出席率が悪く老人の人達に浸透していない。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	45
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由
出席者数は高齢化により多くなってきているが、出席率が横ばい状況にある。今後敬老会開催事業について検討すべき時期と考える。

課題と反省
今後は、地区別の開催とし、経費節減と各地域で身近に長寿を祝うようにする。

平成27年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	結いの会
-----	------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
5	一般会計	敬老会開催事業	文教福祉分科会

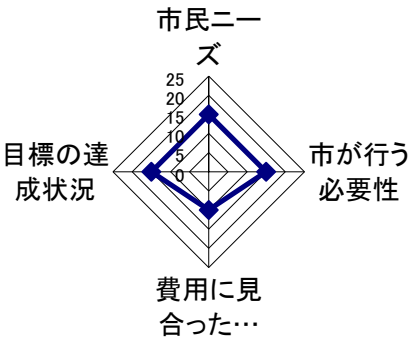
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ ★評価の視点 事業対象者から見た視点をご記入ください。 ※対象者：70歳以上の市民 (H26年度：7,716人、出席者898人)	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ○ ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	15	アンケート結果などからも、市民から一定の評価は頂いているように感じる。
(2) 市が行う必要性 ★評価の視点 市が行うのかどうかをご記入ください。 ※対象者：70歳以上の市民	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ○ ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	15	市のイベントとしての意義は高い。だが地域ごとの分散開催を検討する余地はある。
(3) 費用に見合った効果 ★評価の視点 会場費、バス代、アトラクション代は妥当かどうかを踏まえてご記入ください。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ○ ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	10	地域の交流、生きがいつくりなどを促進するためには、1か所ではなく地域ごとの開催がよりふさわしく感じる。
(4) 目標の達成状況 ★評価の視点 対象者に「敬老」の意図が伝わっているかを考えてご記入ください。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ○ ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	15	参加率の向上が課題。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	55
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由
敬老会を通して外出のきっかけ作り、交流促進、生きがいつくり、健康づくりなどの「動き」を生じさせることをより重視すべきである。そのためには予算規模が多少増加してでも、分散開催の方がより効果的に思える。

課題と反省